



わたしたちは、この希望によって神に近づくのです。
(ヘブライ 7・19)

四旬節「愛の献金」趣意書

今年、教会は聖年を祝います。この聖年は特に「希望」がテーマとして掲げられており、教皇フランシスコは聖年公布の大勅書で次のように述べました。

「希望はまさしく愛から生まれ、十字架上で刺し貫かれたイエスのみ心からわき出る愛がその根本です。」

カリタスの活動現場に行くと、まさに、「希望は神の愛（カリタス）から生まれるのだ！」と感じる瞬間に度々出会います。難民キャンプで全く先が見通せない中で。一度ならず、二度も大災害に襲われ立ち尽くす中で。先住民たちの生活、環境、文化が壊されていく集落の中で。人々が泣き、怒り、無力に打ちひしがれながらも、互いに耳を傾け、互いのために祈り、寄り添って歩んでいく中に生まれてくるささやかな喜びを、生きる希望を、たくさん見てきました。

教会は伝統的に、四旬節の間、祈り、節制、愛の業に励むよう呼びかけています。キリストの荒れ野での誘惑や受難に思いをはせ回心するその具体的な行動の表れとしての三つの業です。このうちの愛の業として、日本の教会では、カリタスジャパンが司教団からの委任を受けて、四旬節愛の献金を呼びかけ、また送られ

2024 年 四旬節献金総額

Amount of total 2024 Lenten Collection

50,961,867 円

主な援助先

(円/Yen)

ベトナム Vietnam 1,522,700

若者の安全な移住とリスク対策を通じた人身取引撲滅
「ユースムーブメント」

スリランカ Sri Lanka 685,215

スリランカにおける政治、経済、社会調査

カンボジア Cambodia 4,765,800

人身売買の防止と弱者女性のための職業技能開発センター

ネパール Nepal 6,372,357

安全な移住労働と持続的な地域再統合促進事業（第二期）

ラオス Laos 2,884,600

ナショナルカリタスと教区カリタス設立支援

中央アフリカ Central Africa 4,856,864

スーダン難民社会統合プロジェクト

モンゴル Mongolia 1,480,400

2024 年 組織運営財政支援

日本／大分教区 Diocese of Oita, Japan 1,948,967

「ふれ愛館（仮称）」新設における修繕費（みんなのサポートセンター）

た献金による援助活動を行っています。昨年度は、50,961,867 円の献金が寄せられ、国内外における災害対応などの緊急支援や、難民、貧困世帯の支援などに使われました。皆様の祈りのこもった、節制の実りとしての、愛の献金は、困難にある人々を心に留め、その声に耳を傾け、祈り、寄り添って歩いていく一つの具体的な形です。そこに、希望が生まれるのです。

教皇フランシスコは、その回勅『兄弟の皆さん』の中で、無数の戦争被害者に触れ、彼らの目を通して現実を見つめ、その声に耳を傾けよう。そうすれば、戦争の根底にある悪の深淵に気づけるようになり、平和を選ぶことで愚直だといわれようとも動じることはない、と呼びかけました。わたしたちの回心が、ただ自分の心をきれいにする行動ではなく、十字架上で刺し貫かれたイエスの聖心のように、困難にある人とともに心を揺さぶられながら、希望を生み出すものでありますように。

2025 年 3 月 5 日 灰の水曜日
カリタスジャパン担当司教 パウロ 成井 大介

日本／東京大司教区 Archdiocese of Tokyo, Japan
312,000
フードパントリー・子どもだれでも食堂（みんなの居場所はぐ）

国際カリタス Caritas Internationalis
緊急支援要請（13 件） 24,624,750

（2024 年 11 月 30 日現在）

四旬節献金では、社会から疎外され、困難な生活を送っている人たちが自分たちの力で生きていくことができるための支援を行っています。

Your Lenten contribution is essential not only for emergency disaster relief, but also for development assistance here and abroad.
Caritas Japan's activities are supported by your donations throughout the year, and one-third of that annual support comes through this Lenten collection.

今年の四旬節小冊子は、四旬節「愛の献金」趣意書、2024 年四旬節献金報告、カリタスジャパン担当司教メッセージ（四旬節福音箇所カレンダー）、2025 年 4 月から 2026 年 3 月までのカレンダーとなっています。カレンダーの使用写真は、カリタスの支援先関連の写真（視察写真含む）を用いており、皆さまからの献金による援助先ならびにカリタスの活動の紹介となっています。

In this year's Lenten booklet outlines the meaning of theme, Lenten donation report of the year 2024 and the message of president, Caritas Japan. It is in the form of Calendar that starts from April 2025 to March 2026. The calendar highlights pictures that introduce Caritas related activities of support and where your donation goes.

受けた恵みを分かち合って

カリタスジャパン担当司教
成井大介

四旬節のはじめ、灰の水曜日のミサの第2朗読では、コリントの信徒への手紙二の5章20～6章2節が読まれます。

わたしたちはまた、神の協力者としてあなたがたに勧めます。神からいただいた恵みを無駄にしてはいけません。なぜなら、「恵みの時に、わたしはあなたの願いを聞き入れた。救いの日に、わたしはあなたを助けた」と神は言っておられるからです。今や、恵みの時、今こそ、救いの日。

四旬節は恵みの時だといわれますが、それは、神の恵みはわたしたちの罪よりも力強く、神は灰のようなわたしたちを用いて良いものを生み出されるからでしょう。わたしたちは、この神の恵みをしっかりと受け止め、決して無駄にすることなく、人々と分かち合うよう招かれています。以下に紹介するプロジェクトは、2024年の四旬節に皆様が分かち合った恵みの実りです。

ルカ Lk 6・39-45

マルコ Mk 10・17-27

マルコ Mk 10・28-31

灰の水曜日 (大斎・小斎)
Ash Wednesday

四旬節愛の献金 (四旬節中)
Lenten Love Collection (During Lent)
マタイ Mt 6・1-6, 16-18

ルカ Lk 9・22-25

マタイ Mt 9・14-15

ルカ Lk 5・27-32

3/ 2 日
Sun

3 月
Mon

4 火
Tue

5 水
Wed

6 木
Thu

7 金
Fri

8 土
Sat

カリタスラオス組織立ち上げ支援

国際カリタス連盟に所属する世界 160 を超えるカリタスは、神の愛に基づいて人間の尊厳が尊重される世界を作っていくという共通の側面と、それぞれの成り立ちや社会的背景に合わせた独自の側面を持っています。カリタスジャパンも例外ではなく、日本の教会ならではの活動を行っていますが、そのカリタスジャパンの独自性の一つが、新たに設立されたカリタスの継続的な組織支援です。

キリスト教の文化が浸透している、欧米や中南米諸国においては、基本的にカリタスの発足も早く、長年にわたる活動の積み重ねがあります。しかし、アジアのいくつかの国では新たに設立されるカリタスが相当数あります。カリタスの強みの一つは、地域性と国際性の両側面を併せ持っていることですが、その意味で各国にカリタスが存在することは非常に重要であり、新たに立ち上がったカリタスの組織強化は優先課題だといえます。

組織の立ち上げ支援は、通常の活動支援とは大きく異なります。活動支援が、例えば自然災害の現場で必要な衣食住や医療に関する物資を調達し、そのために必要な人員や施設、交通手段などを確保するものであるのに対し、組織の立ち上げ支援は当該カリタススタッフの給与、スタッフの養成、事務局の備品購入など、組織の運営費用そのものの支援なのです。資金援助を行うカリタスによっては、政府や企業からの意向付きの資金が主な財源となっており、こうした組織運営のための支援が制限されていることが

四旬節第 1 主日
First Sunday of Lent

ルカ Lk 4・1-13

9 日
Sun

マタイ Mt 25・31-46

10 月
Mon

マタイ Mt 6・7-15

11 火
Tue

ルカ Lk 11・29-32

12 水
Wed

マタイ Mt 7・7-12

13 木
Thu

マタイ Mt 5・20-26

14 金
Fri

マタイ Mt 5・43-48

15 土
Sat

度々あります。それに対してカリタスジャパンの財源は100%皆様からいただいた募金ですので、組織の運営費用のために支援することができます。特に、四旬節「愛の献金」は、多額の、意向を伴わない（他の募金は、海外、国内、特定の災害などの意向が付いています）献金ですので、こうした、非常に重要でありながら、諸事情で他のカリタスからの支援を得にくい内容のプロジェクトのために使われることが多く、カリタスジャパンがその特長を生かして活動するために欠かすことのできない財源となっています。皆様のご協力に心から感謝いたします。

カリタスラオスは2022年10月に設立されました。ラオスには四つの使徒座代理区があり、各区における安全な水供給、持続可能な農業、小学校のトイレ改善、海外移住労働者対応、そしてHIV／AIDSの五つの分野での活動が行われていますが、カリタスジャパンはカリタスラオスならびに各使徒座代理区カリタスの運営支援と、安全な水供給支援を行っています。

カリタスの活動というのは、一般的な支援団体の活動とは違い、教会の活動そのものです。カリタスの組織と活動が軌道に乗るためには、その国の教会全体でカリタスについての理解が深められ、取り組みが進められなければいけません。その意味で、カリタスの立ち上げは、ただ事務局が開設されれば良いというものではなく、長い時間をかけて教会全体として活動を進めていく必要があります。新しくカリタスができる国では、カトリッ

四旬節第2主日
Second Sunday of Lent

ルカ Lk 9・28b-36

3/16日
Sun

ヨハネ Jn 19・25-27

17月
Mon

マタイ Mt 23・1-12

18火
Tue

聖ヨセフ
Saint Joseph

マタイ Mt 1・16, 18-21, 24a
△ルカ Lk 2・41-51a

19水
Wed

春分の日

20木
Thu

ルカ Lk 16・19-31

性虐待被害者のための祈りと償いの日
Day of prayer and penance for the
victims and survivors of sexual
abuses
マタイ Mt 21・33-43, 45-46

21金
Fri

ルカ Lk 15・1-3, 11-32

22土
Sat

ク人口が少なく、教会としての組織もそれほど大きくないことが多いです。そうした中、何年もかけてカリタスジャパンが他国カリタスの立ち上げ支援にパートナーとして関わり続けるのは、ただ資金援助を行うだけではない、シノドス的な、ともに歩む意義があると考えています。これから四旬節献金を通して、また皆様の祈りの中で、カリタスラオスの歩みを心に留めていただけたらと思います。

ネパールにおける安全な移住労働と持続的な地域再統合促進

国内、国外への移住労働者は、世界中でますます増えています。国際移住機関の世界移住報告書 2024 によると、2000 年に世界人口の 2.83% だった国外への移民は、2020 年には 3.6% に増加、人数では 1 億 7400 万人から 2 億 8100 万人に増えました。このうち、約 40% の移民がアジア生まれの人々です。なお、2 億 8100 万人のうち、移住労働者は 1 億 6900 万人です。

ネパールからの移住労働者の行き先は、湾岸諸国やマレーシアを中心に、日本を含むアジア諸国、またヨーロッパ諸国への移民も増えています。海外で働く 300 万人近くのネパール人が単純労働に従事しており、困難で、汚く、危険な職種に従事していると推測されています。また、残念ながら、人々の経済的困窮につけ込んだ人身売買や労働搾取が横行しており、多くの人々が被害を受けています。

このような状況にあって、カリタスネパールは、特に移住する人々の多

四旬節第 3 主日
Third Sunday of Lent

ルカ Lk 13・1-9

23 日
Sun

ルカ Lk 4・24-30

神のお告げ
The Annunciation of the Lord

ルカ Lk 1・26-38

24 月
Mon

25 火
Tue

マタイ Mt 5・17-19

26 水
Wed

ルカ Lk 11・14-23

27 木
Thu

マルコ Mk 12・28b-34

28 金
Fri

ルカ Lk 18・9-14

29 土
Sat

いコシ州のカンカイ市において、海外移住労働に関する正しい知識を広める活動を 2020 年から行っており、カリタスジャパンはこのプロジェクトを支援しています。具体的には、カンカイ市役所内に海外移住労働ヘルプデスクを設置し、海外移住労働者に向けた出国前と帰国後のオリエンテーションを行います。また、市内の掲示板や、公共の場での演劇、さらにはスポーツ大会や職業相談会、記念日イベントなどを通して、移住労働に関する知識を広めます。家庭訪問を通じて移住労働に関する情報を広めたり、またデータを収集します。そして、海外移住労働者ネットワークを構築して知識を広めます。

このような、移住労働による被害を未然に防ぐための活動を行うのと同時に、被害を受けて帰国した人々の社会心理的ケアや、医療支援も行っています。そして、そもそも移住しなくても良いように、地元で経済的に自立するための活動も行われています。

4 年かけてカンカイ市に九つあるすべての区でこうした活動が行われたのですが、何より大切なのは、このヘルプデスクが市役所内に置かれており、カリタスの支援が終わっても自治体が活動が続けていくことが期待されるということです。また、カンカイ市の成功例が他の自治体にも広がっていくことも期待されます。

教皇フランシスコは、2018 年の世界平和の日メッセージで次のように述べています。

ルカ Lk 15・1-3, 11-32

ヨハネ Jn 4・43-54

ヨハネ Jn 5・1-3a, 5-16

ヨハネ Jn 5・17-30

ヨハネ Jn 5・31-47

ヨハネ Jn 7・1-2, 10, 25-30

ヨハネ Jn 7・40-53

31 月
Mon

4/ 1 火
Tue

2 水
Wed

3 木
Thu

4 金
Fri

5 土
Sat

国際社会が入手したすべてのデータは、世界的な移住現象が今後も続くことを示しています。このことを脅威として受け止める人もいるでしょう。しかしわたしは、平和を築く機会として確信をもってこのことを見据えるよう、皆さんにお願いしたいと思います。

…庇護希望者、難民、移住者、人身売買の犠牲者に、彼らが探し求めてきた平和を見つける機会を与えるためには、受け入れ、守り、促進し、共生するという四つの行いにつながる取り組みが必要です。

日本においても、これからもますます移住労働者が増えるといわれています。わたしたちが、世界中で人々が移住する時代に生きる者として、これを平和を築く機会として受け止め、歩みをともにし、取り組みを進めることができますように。

みんなのサポートセンター「ふれ愛館（仮称）」の修繕支援

厚生労働省による 2022 年国民生活基礎調査によると、日本の相対的貧困率（国民の年間所得の中央値の 50% に満たない所得水準の人々が占める割合）は 15.4% で、それは、日本の人口の約 6 人に 1 人が貧困状態にあることを意味します。これは個々の経済的側面だけでなく、自然災害時の対応力の低さ（脆弱性）が社会全体に広まっていることをも示しています。

2017 年 9 月の台風 18 号による被害を受けた地域の中で、大分県津久見

市についての報道は少なかったのですが、河川の氾濫による中心部の大規模浸水により、多くの市民が被害を受けました。大分教区はカトリック津久見教会にボランティアセンターを開設、教会を拠点として被災した世帯の泥のかき出しや清掃のボランティア活動が行われました。災害時に最も影響を受けるのは、社会で弱い立場にある人びとです。これまで世界中の被災地で支援活動に従事してきたカリタスがそうしてきたように、津久見でボランティア活動に参加した人たちは、結果的に、困難を抱えた人びとに出会い、その人たちに寄り添った活動を実施しました。その支援活動をきっかけに地域の協力と信頼を得た津久見教会は、その後ボランティアグループ「みんなのサポートセンター」を立ち上げ、地域の人びとに寄り添い続けています。

みんなのサポートセンターは現在、カトリック津久見教会で月二回、経済的、精神的支柱を必要としている子どもたちとその家族、独居高齢者のための「みんなの食堂」を開催するとともに、独居高齢者の生活ニーズ（ゴミ出し、電球交換、そうじや荷物の移動など）に応えるための「困りごと支援センター」を、津久見市及び津久見市社会福祉協議会との協力のもとで立ち上げ、ボランティアを中心に活動しています。加えて、畑をかりて野菜を育て、収穫されたものをコミュニティ食堂で食材として用い、作業には学校に行けない子どもたちや引きこもりの大人にも参加してもらい、普段社会や他者とのかわり合いが持てない人たちに社会と触れ合う機会を提

受難の主日(枝の主日)
Palm Sunday

ルカ Lk 23・1-49
△ 22・14～23・56

4/ 13日
Sun

ヨハネ Jn 12・1-11

14月
Mon

ヨハネ Jn 13・21-33, 36-38

15火
Tue

マタイ Mt 26・14-25

16水
Wed

聖木曜日(主の晩さん)
Holy Thursday

ヨハネ Jn 13・1-15

17木
Thu

聖金曜日(主の受難)(大斎・小斎)
Good Friday

聖地のための献金 Good Friday
collection for Holy Land
ヨハネ Jn 18・1～19・42

18金
Fri

聖土曜日/復活徹夜祭
Holy Saturday

ルカ Lk 24・1-12

19土
Sat

供しています。

地域の人びとに寄り添い、そのニーズに応えることで活動をひろげてきたみんなのサポートセンターは現在、「みんなの食堂」の利用者増加に対応するため、また、「様々な事情から逃れる人びとのための“家”」の開設という、新たなニーズに応える準備をすすめています。カリタスジャパンは、教会に隣接した空き家を食堂とその他の活動の場として使用するための修繕費用を、皆様からの四旬節献金から支援いたしました。

教皇フランシスコは今年聖年を祝うにあたり、大勅書「希望は欺かない」を発表し、次のように述べました。
「聖年の間にわたしたちは、苦しい境遇のもとで生きる大勢の兄弟姉妹にとっての、確かな希望のしるしとなるよう求められます。」

どうか、今年の四旬節が、皆様にとって恵み深いときとなりますように。そして、皆様の分かち合う恵みが、多くの人の希望となりますように。この聖年の四旬節の歩みをともにして参りましょう。

※教皇フランシスコの四旬節メッセージは、カトリック中央協議会のウェブサイトをご覧ください。The Lenten Message of Pope Francis is available for download from CBCJ website.



復活の主日 Easter Sunday of the
Resurrection of the Lord

ヨハネ Jn 20・1-9

20日
Sun

マタイ Mt 28・8-15

21月
Mon

ヨハネ Jn 20・11-18

22火
Tue

ルカ Lk 24・13-35

23水
Wed

ルカ Lk 24・35-48

24木
Thu

ヨハネ Jn 21・1-14

25金
Fri

マルコ Mk 16・9-15

26土
Sat

あなたがたの名が
天に書き記されていることを
喜びなさい。



... rejoice because your names are written in heaven.

2025 4 April

日 Sun	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			
		昭和の日				

2025 5 May

日 Sun	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat
				1	2	3
						憲法記念日
4	5	6	7	8	9	10
みどりの日	こどもの日	振替休日				
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

写真：フレウェイニが住むアデブール村（エリトリア）では、村人が協力して土地に水がよく染み込むための改善事業をやり遂げた。／ In Adebur village, where Freywaini lives, the villagers worked together to complete an improvement project to allow water to soak into the land better. (Eritrea) ©Caritas international 聖句：ルカ 10・20 ／ Luke 10・20

「見なさい。あなたの母です。」



Behold, your mother.

2025 6 June

日 Sun	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

2025 7 July

日 Sun	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

海の日



いつも喜んでいなさい。
絶えず祈りなさい。
どんなことにも感謝しなさい。

Rejoice always. Pray without ceasing. In all circumstances give thanks

2025 8 August

日 Sun	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11 山の日	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24 31	25	26	27	28	29	30

2025 9 September

日 Sun	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15 敬老の日	16	17	18	19	20
21	22	23 秋分の日	24	25	26	27
28	29	30				

写真：ロヒンギャ難民キャンプ（バングラデシュ）の広場で遊ぶ子どもたち／ Children playing in Rohingya refugee camp (Bangladesh) ©Caritas Internationalis 聖句：テサロニケの信徒への手紙ー 5・16－18／ 1 Thessalonians 5・16－18

主とともに働く我らは、
主とともにその実りを味わう。



We, who work with the Lord will share the fruits of that labor.

2025 10 October

日 Sun	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
スポーツの日						
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2025 11 November

日 Sun	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat
						1
2	3	4	5	6	7	8
文化の日						
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23 30	24	25	26	27	28	29
振替休日						

写真：カリタス（ネパール）の農業研修を受け、収穫量の向上に成功した出稼ぎ者の家族／ A migrant family successfully improved their harvest after receiving agricultural training from Caritas (Nepal) ©Caritas Nepal 聖句：典礼聖歌 108／ Tenrei Seika 108

あなたたちのもとに寄留する者を
あなたたちのうちの土地に生まれた者同様に扱い、自分自身のように愛しなさい。
なぜなら、あなたたちもエジプトの国においては寄留者であったからである。



The stranger who resides with you shall be to you as the native among you, and you shall love him as yourself,
for you were strangers in the land of Egypt;

2025 12 December

日 Sun	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2026 1 January

日 Sun	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat
				1 元 日	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11 成人の日	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

写真：雨季に十分な雨が降らず渴ききったマルサビット地域（ケニア）に、生きるための水が運ばれた。／ Water for life was brought to the Marsabit region (Kenya), which was thirsty due to insufficient rainfall during the rainy season. ©Caritas international 聖句：レビ記 19・34 ／ Leviticus 19・34

わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、
わたしにしてくれたことなのである。



... whatever you did for one of these least brothers of mine, you did for me.

2026 2 February

日 Sun	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11 建国記念の日	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23 天皇誕生日	24	25	26	27	28

2026 3 March

日 Sun	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18 灰の水曜日	19	20 春分の日	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

事前に当協議会事務局に連絡することを条件に、通常の印刷物を読めない、視覚障がい者その他の人のために、必要な形式による複製を許諾する。ただし、営利を目的とするものは除く。なお、点字による複製は著作権法第 37 条第 1 項によりいっさい自由である。

この小冊子は点訳・音訳の作成をロゴス点字図書館にお願いしています。点字図書館の録音図書（CD）は、著作権法第 37 条第 3 項により、視覚障がいその他、学習障害、肢体不自由など活字の本を読むことが困難な人も対象となります。まずはロゴス点字図書館（電話：03-5632-4428）までご相談ください。

四旬節キャンペーン小冊子 2025 年

2025 年 3 月 5 日 発行 © カトリック中央協議会 2025 年

編集 カリタスジャパン

発行 カトリック中央協議会

〒 135-8585 東京都江東区潮見 2-10-10

日本カトリック会館 電話 03-5632-4411

カリタスジャパン 電話 03-5632-4439（直通） FAX 03-5632-4464

E-mail info@caritas.jp URL <https://www.caritas.jp/>

印刷 株式会社 双文社印刷

聖句：日本聖書協会『新共同訳』 Biblical Quotations：New American Bible November 11, 2002 © USCCB / New American Standard Bible®, © 1960, 1971, 1977, 1995, 2020 by The Lockman Foundation

表紙写真：津波で被災した幼稚園の子どもたちと、カリタス南三陸の田んぼで古民具を使い田植え体験／Cover Photo：Kindergarten children affected by the tsunami use traditional tools to plant rice in the Caritas Minami Sanriku rice fields. © カリタス南三陸